

# 階段

フォト劇場 (72)

写真が生ものがたり  
がむもの

階段をのぼれば棚に待ちてをり未読の本は翼をたたみ

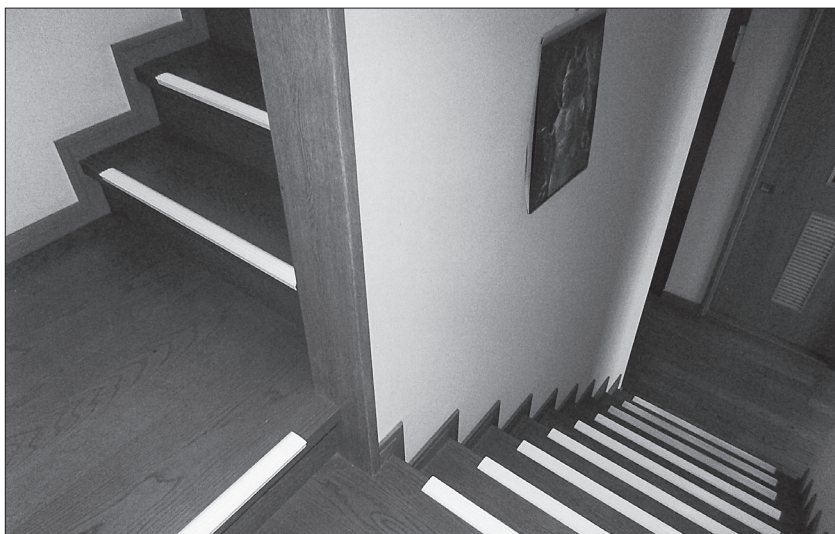
田辺由喜子

少し前まで二階のある家に住んでいた。短歌関連の本は身近に置き、それ以外は老後？にゆっくり読むつもりで二階の書棚に積んでいた。老後とはいつなのか。短歌との縁しに感謝しつつ徐々に翼を開いてゆこうと思う。

り 階段のほとりほのほの山水を描きし夫の水墨画あり

河村いち子

わが家では常に夫の描いた作品を季節季節に合った作品に夫が掛け替える。玄関に階段に居間に。私はただ眺めるだけ、小さな個展を二度やっつのち心不全、それでも続行。私はこの精神を学ばなければと密かに思う。



写真・木畑紀子

むせび泣く人声に似せサックスは地下階段に「枯  
葉」を鳴らす ひとこえ

米谷紀代志

階段は鉄製の螺旋階段が佳い。何かな希望が  
持てる。コンクリートの地下階段はカビ臭く  
奈落に墜ちる恐怖感がある。絶望と言っても  
よい。上昇志向を持つ者には決して下を向か  
ない方がよい。視線を上げよう。

魔の時は一瞬なりき階段ゆどどと落下す「ああ」  
の声のみ

武市尋子

何が起きたか考える間も無く上から下まで転  
がり落ちた。家族はさておき犬も猫も飛び出  
してきたのには痛いのも忘れ笑ってしまった。  
背中に青あざで済んだが老いの日常は、鈍器  
と凶器と共存していると認識した。